

奈良まほろば館新拠点首都圏プロモーション業務委託受託事業者募集要項

1. 適用

本要項は、奈良まほろば館新拠点首都圏プロモーション業務を委託する事業者を公募型プロポーザル方式により選定するにあたり、その募集手続き等必要な事項を定めるものとする。

2. 委託業務の概要

(1) 業務名

奈良まほろば館新拠点首都圏プロモーション業務委託

(2) 業務の背景

奈良県（以下「本県」という。）では、東京都中央区日本橋室町にて、首都圏における情報発信拠点「奈良まほろば館」を運営しているが、令和3年7月（予定）に東京都港区新橋に移転することとしている。移転後の奈良まほろば館（以下「新拠点」という。）では、観光情報発信による県への誘客の促進や、県産品のイメージアップ、ブランド力の向上、品質等のブラッシュアップを通じた販路の開拓を図ることを目的とし、観光情報発信、展示・イベント、物販（軽飲食含む）、飲食の機能を一体的に展開する予定である。

この新拠点の開業を首都圏に周知し認知度の向上を図るとともに、幅広い層の誘客を促進する。

〔新拠点の概要〕

① 周辺の環境

施設が立地する新橋地域はビジネスマンの多い場所であるが、銀座に隣接し、買い物客や観光客など多様な人々の来館が見込まれる地域。

② 物件概要

- ・ 所在地 東京都港区新橋一丁目8-3
(鉄骨、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上11階建)
- ・ 使用面積 1階 289.19㎡
(予定) 2階 615.20㎡
合計 904.39㎡
- ・ レイアウト 1階 物販（軽飲食含む）、観光情報発信
2階 飲食、展示・イベント

〔新拠点の機能〕

① 観光情報発信

② 展示・イベント

③ 物販（軽飲食含む）

県産品及び県産品に準ずるもの（以下「県産品等」という。）の企画・販売等を行う。

④ 飲食

県産食材を使った飲食の提供等を行う。

〔新拠点のコンセプト〕

新拠点は、県の首都圏における情報発信拠点として、観光、食、特産品、伝統工芸などの情報を発信し、県の認知度とブランド力向上を図り、首都圏からの観光客の誘客、県産品の販路拡大を行うことを目的としている。物販、飲食、観光案内、イベント機能を合わせもつ複合施設として整備し、一体運営により相乗効果を発揮させることとしている。

本県は、日本の歴史文化発祥の地であり、古来より続く伝統行催事や伝統が残る地域で、他地域にはない特有の魅力を有している。新拠点では、これらの歴史や伝統を感じることができる上質で

洗練された雰囲気の中で、県産品等の物販、県産木材を活かしたインテリアの展示、県産食材を使った料理の提供などにより、県のイメージアップやブランド力向上を図る。

(3) 業務の内容

①オープニングイベント等の企画、運営

②新拠点の認知度向上、誘客促進PR

③各種PRツールの制作

④プレスリリース等による広報の企画、実施、分析 等

※詳細は別紙「奈良まほろば館新拠点首都圏プロモーション業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）に記載。

(4) 企画提案書等作成に係る経費

企画提案書等の作成及び提出に要した一切の経費は提案者の負担とする。

(5) 委託料上限額

18,000千円（消費税及び地方消費税に相当する額（10%）を含む。）

(6) 委託期間

契約締結日から令和4年3月31日（木）まで

3. 手続き等

(1) 担当部局

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30番地

奈良県観光局観光プロモーション課 プロモーション推進係

TEL:0742-27-8482 FAX:0742-27-3510

(2) 参加表明書（様式1）の提出

○提出期限 令和3年3月11日（木）17時00分まで

○提出方法 （1）の担当部局に持参又はファクシミリにて送信すること。

※ファクシミリにて送付する場合、必ず電話にて送付した旨を連絡すること。

(3) 企画提案書等の提出

○提出期限 令和3年3月19日（金）正午まで

○提出方法 （1）の担当部局に持参又は郵送（簡易書留等の書留郵便に限る）すること。

※持参の場合は、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する祝日を除く9時から17時まで（12時から13時までの間は除く。）とする。

○提出物

①参加申込書（様式2）

②事業者概要書（様式3）

③誓約書（様式4）

④業務実施体制（様式5）

⑤類似業務受注実績（様式6）

契約書の写しを添付すること。

⑥企画提案書（様式任意 サイズはA4又はA3）

企画提案書には、「2.（2）業務の背景」や「仕様書」を踏まえ、以下の項目を盛り込むこと。

項目ごとにインデックスを付すなど閲覧性に配慮すること。

ア 業務実施方針、業務スケジュール

「仕様書」に記載の業務内容をどのように実施するのかをわかりやすく記載し、業務全体のコンセプト、業務実施方針及び業務スケジュールを提示すること。

イ 業務実施体制

業務を実施するにあたり、どのような人材を起用するか等がわかるよう、業務実施体制を提示すること。

ウ オープニングイベント等の企画案

物販、レストランそれぞれの内覧会やオープニングセレモニーについての企画案をわかりやすく提示すること。実施するにあたっての周知広報の方法や想定する招待者候補などについても記載すること。

エ ホームページの構成案

「2.（2）業務の背景〔新拠点のコンセプト〕」を踏まえ、ホームページのトップ画面のイメージ及びページ構成がわかる構成案を提示すること。

オ SNSでの発信手法

SNSを活用した情報発信手法について、インフルエンサー等を活用する場合は、候補となるインフルエンサーを提示するなど、具体的な案を提示すること。また、どのようなターゲット層への訴求を想定しているかも詳細に記載すること。

カ メディア等向け参加型イベントの企画案

年10回程度想定しているメディア等向け参加型イベントの企画案を提示すること。どの時期にどのような企画を実施し、どのような参加者を想定しているかも記載すること。

キ 館内パンフレットのイメージ

「2.（2）業務の背景〔新拠点のコンセプト〕」を踏まえ、館内パンフレットのイメージを提示すること（詳細なものではなく、館内パンフレットに係るデザインのテイストが掴めるものであれば良い）。

ク 全国及び首都圏メディア等へのリリース配信手法

配信先（どのようなメディアやインフルエンサーに配信するか）、配信時期、配信内容などをわかりやすく提示すること。

⑦見積書（様式任意 サイズはA4）

・宛名は「奈良県知事 荒井正吾」とし、第三者により客観的な判断が可能な積み上げ方式とすること。

(4) 企画提案書等の提出部数

○参加申込書 1部

○参加申込書以外の提出書類 9部（正1部、副8部）

※なお、副8部については、提案者を判読できるような用紙の使用や記載を行わないこと。

(5) 質問の受付

○受付期間 令和3年2月26日（金）から令和3年3月5日（金）17時00分まで

○受付方法 質問票（様式7）に質問事項を記載のうえ、ファクシミリで送信すること。

※送信後、（1）の担当部局まで電話連絡すること。口頭による質問は受け付け

ない。

○質問先 (1)の担当部局に同じ

○回答方法 「奈良県観光プロモーション課ホームページ」に公表(令和3年2月24日(水)回答予定)

※個別には回答しない。また、質問者名は掲載しない。

4. 日程

令和3年2月26日(金) 要項配布、参加表明書及び質問受付開始
3月5日(金) 質問受付終了(17時00分まで)
3月10日(水) 質問回答予定
3月11日(木) 参加表明受付終了(17時00分まで)
3月19日(金) 企画提案書等受付終了(正午まで)
3月23日(火)頃 受託事業者選定審査委員会開催予定

5. 受託事業者の選定

(1) 企画提案書等の審査

①企画提案書等の審査は、奈良まほろば館新拠点首都圏プロモーション業務委託受託事業者選定審査委員会(以下「選定審査会」という。)」により、次の審査項目等について採点を行うものとし、各委員の採点結果を合計した点数を提案者の得点とする。最も評価の高い一事業者を最優秀提案者として選定するが、その選定にあたっては、審査委員の合計点を集計した総得点が6割以上であることを特定の条件とする。なお、審査は非公開で行う。

審査項目	審査の着眼点	判断基準	配点割合
I. 業務実施方針、業務実施体制	事業目的・業務内容等の理解度	業務目的、業務内容の理解度が高く、かつ、実現可能な業務スケジュールになっているか。	5%
	業務実施体制の妥当性	各種ツールの制作やWEBプロモーションの提案が可能な担当者を配置するなど、各業務内容に見合った責任者及び担当者の配置や人数等、人員が適切に配置され、過去に同様の業務取組実績が豊富か。	10%
II. 内覧会、オープニングイベントの企画・実施	実現力	内覧会、オープニングイベントについて、メディア関係者など招待予定者が具体的に示され、新拠点の魅力を強く発信できる内容及び奈良への興味を誘起する内容となっているか。	20%
	訴求力	オープニングイベントの周知広報が具体的に提案されており首都圏に広く訴求するものとなっているか。	10%
III. 新拠点の認知度向上、誘客促進PR	利便性	各種PRツールやホームページは、新拠点の魅力を強く伝え来館を誘引する構成、内容になっているか。また、ホームページについてはユーザビリティ、アクセス増の工夫、メンテナンス性が優れたものであるか。	15%

	広報力	メディアリリースやSNSによる情報発信、新拠点周辺企業等に対する広報及びWEBプロモーションの提案は、具体的で計画性があり、新拠点の認知度向上、誘客促進に繋がるものとなっているか。	20%
	パブリシティ効果	メディア等向け参加型イベントでは、メディアリレーションを構築し、パブリシティ効果（各マスコミ関係に取り上げてもらえるように働きかけること）が期待できる内容になっているか。	15%
IV. 見積書	事業費の合理性・適正性	経費の内訳、範囲が明確に示されており、経費の積算内容が業務委託仕様書で求める業務内容及び提案内容に見合った妥当な金額となっているか。	5%

- ②提出のあった企画提案書等について、必要に応じてプレゼンテーション及び質疑応答を行う場合がある。なお、応募者多数の場合は、プレゼンテーション及び質疑応答に先立ち書類選考を行う場合がある。
- ③提案者が2者に満たなかった場合においては、審査委員の合計点を集計した総得点が6割以上であることを契約相手方特定の条件とする。
- ④選定結果は、企画提案書等を提出した事業者のみに対して書面で通知する。
- ⑤プレゼンテーション及び質疑応答を行う場合は、令和3年3月23日（火）頃を予定しており、時間等詳細は、後日提案者に対して通知する。

(2) 事業者との契約

- ①上記（1）により最優秀提案者として選定された者が受託事業者の候補者となり、契約締結の協議を行うことになるが、協議の結果契約締結の合意に達しなかった場合又は最優秀提案が取消しとなった場合には、その者との契約を行わず、次点の者と協議を行う場合がある。
- ②当企画提案書でなされた有効な提案については、必ず実施すること。
- ③企画提案書、参加申込書その他に虚偽の記載をした場合は、当該業務の企画提案書等を無効とし、契約締結後には、契約を解除することがある。
- ④契約締結後、契約の相手方が次のいずれかに該当すると認められるときは、契約を解除することがある。また、契約を解除した場合は、損害賠償義務が生じる。
- (ア) 役員等（法人にあつては非常勤を含む役員及び支配人並びに支店又は営業所の代表者、その他の団体にあつては法人の役員と同等の責任を有する者、個人にあつてはその者及び支配人並びに支店又は営業所を代表する者をいう。以下同じ。）が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴対法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき。
- (イ) 暴力団（暴対法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与しているとき。
- (ウ) 役員等が、自社、自己若しくは第三者の不正な利益を図り、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用しているとき。
- (エ) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、又は関与しているとき。
- (オ) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき。
- (カ) 本契約に係る下請契約又は資材、原材料の購入契約等の契約（以下「下請契約等」という。）に当たって、その相手方が上記(ア)から(オ)のいずれかに該当することを知り

ながら、当該者と契約を締結したとき。

(キ) 本契約に係る下請契約等に当たって、上記(ア)から(オ)のいずれかに該当する者をその相手方としていた場合（上記(カ)に該当する場合を除く。）において、奈良県が契約の相手方に対して当該契約の解除を求め、契約の相手方がこれに従わなかったとき。

(ク) 本契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員から不当介入を受けたにもかかわらず、遅滞なくその旨を奈良県に報告せず、又は警察に届け出なかったとき。

(3) その他

採択された提案は、県との協議等により、修正・変更を行う場合がある。

6. その他

- (1) 提出された書類は返却しない。また提出した企画提案書を県に無断で他に使用することはできない。
- (2) 提出された企画提案書等は、審査作業に必要な範囲において複製を行う場合がある。
- (3) 選定結果として企画提案書等を提出した者の名称、審査結果概要等の情報公開を行う場合があること及び県民等から情報公開の請求に応じて企画提案書等の情報開示を行う場合がある。
- (4) 選定結果に対しての異議申し立ては受け付けない。
- (5) 募集及び契約については、県の都合により中止することがある。この場合、損害賠償は行わない。
- (6) 委託業務の詳細事項及び業務の進め方等については、県の指示に従うこと。
- (7) 委託期間中において、委託業務の中間報告を求めた時は、速やかに報告すること。